

# 養老中部地域実質化された京力農場プラン

市町村名	地域名 (該当集落名)	当初作成年月	更新年月
宮津市	養老 大島、岩ヶ鼻、外垣、長江	平成29年2月	令和3年3月

## 1 対象地区の現状

a 地区内の耕地面積	18.80 ha
b アンケート調査等に回答した地区内の農地所有者又は耕作者の耕地面積の合計	12.22 ha
c 地区内における80歳以上の農業者の耕作面積の合計	1.17 ha
i うち後継者未定の農業者の耕作面積の合計	0.65 ha
ii うち後継者について不明の農業者の耕作面積の合計	0.52 ha
d 地区内において今後中核的担い手が引き受ける意向のある耕作面積の合計	0.00 ha
e 地区内において今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積の合計	0.00 ha
(備考)	
dは、5年以内に引受意向のある面積	

## 2 対象地区の課題

### 課題

今後5年間で規模縮小が見込まれる面積が約1haあるため、当面これらの農地の受け皿を調整する必要がある。また、80歳以上の耕作者の耕作面積は今後10年間で1.2haから4.3haまで増加する見込みで、規模拡大を見込む経営体はごく少数であることから、これらの農地の受け皿は、せんごく営農組合が中心となると考えられる。一方で、せんごく営農組合も高齢化が進んでおり、地域の協力が必要となってくるほか、せんごく営農組合を含め、アンケートでは約4割の農家が「後継者の候補はいるが継承未定」と回答しており、こうした農家の次世代が営農に取り組みやすい環境づくりが重要な課題。

## 3 対象地区内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

中核的担い手を中心に農地集約による農地利用の効率化を進める。